

新健康協会では、新しい健康法を伝える「健康新聞」を毎月発行し、人間の持つ治癒力や適応力をお伝えしています。肉体的、精神的なことでお悩みの方もぜひ御一読ください。

# 健康新聞

発行所 新健康協会  
発行人  
〒813-0001  
福岡市東区唐原6-7-1  
TEL:092-661-1531  
https://shinkenko.jp



次の御論文は、明主様(当協会の教祖)が、昭和二十七年に発表されたものであります。世界平和と心身共に健全な人間作りを目指す活動に御理解を頂ければ幸甚です。

## 運命は自由に作れる

人間は昔からよいにつけ悪いにつけ、どうも運命だから仕方がないと諦めたがる癖があり、運命というものは不可抗力なものと決めているのは、誰も知る通りである。ところが私は運命は誰でも自由自在に変えられるという事を教えようと思う。というのは元来運命は人間が作るように出来ているもので、この真相が分かれば、この世の中は悲観どころか大いに楽観していいのである。いうまでもなく精神病者でない限り、どんな人でも不幸な運命にはなりたくない、何とかして幸運をつかみたいと思うのは当たり前な話で、そのため血の汗を絞り、命を的にしてまでも一生懸命になっているのは、人間通有の欲望

であるにもかかわらず、本当に幸運をつかみうる人は、果して幾人あるであろうか、まず百人に一人もむずかしいといつてよからう。とすれば幸福者たるにはどうすればいいかという事になり、迷いに迷ったあげくの果てがああ世往きとなるのだから、何と心細い人生ではなからうか。お釈迦さんの言われた通り、全く諸行無常の娑婆である。とはいうものの、たまには本当に幸運をつかむ人も、万人に一人くらいはないではないから、そういう人を見る世人はつい諦めきれず、夢を追うことになるので、それで世の中はいいのだと悟りを開く人もない事はない。もし本当に幸運をつかみ得る方法があるとしたら、これ程結構なことはあるまい。誰もそれが分からないので、不幸な運命を作ってしまうのである。つまり自分で牢獄を作り、その中へ入って苦しむ訳で、事実このような愚劣あわれむべき人で世の中はいっぱいである。では幸運者となるにはどうすればいいかという、分かりきった話であるが、善の種をまけばいいので、昔からいう善因善果、悪因悪果の言葉通りであるから、悪の種とは人を苦しめ、損

害を与え、自分さえよければ人はどうでもいというような利己的観念で、善の種とは他人を喜ばせ、他人に利益を与える利他愛観念である。としたら甚だ簡単のようだが、それがなかなかむずかしいので、人世は厄介なものである。ではどうすればいいかというと、右の道理を信じ、守り得られる心を作ることで、そうすれば嫌でも実行するからである。それには勿論信仰よりほかないが、ここで注意すべきは、単に信仰といつてもいろいろあるから、充分選択しなくてはならないのは言うまでもない。ところで自画自讃ではないが、本教こそ、その条件に最も合致している信仰であるから、不幸に苦しんでいる人は、一日も早く入信される事をおすすめする次第である。

### 浄霊体験記

2ページ  
3ページ

- 肋骨の痛み良くなり全てが良い方向へ…
- 日々過ごせることに心から感謝…
- 苦しみの人生から明るく幸せな人生へ
- 痛みから解放され安心と喜びの毎日…

浄霊によって病苦から救われると共に運命が向上し、幸せになられた方々の体験手記でございます。

肋骨の痛み・シッシン

肋骨の痛み良くなり  
全てが良い方向へ…

長崎支部  
篠崎剛 (60)



私は母がきっかけで浄霊を知りました。

母が私が中学生の時に、新健康協会の会員だった祖母より浄霊を勧められ、浄霊を受けるようになりました。その後、入会しましたので、私も浄霊を受けるようになりました。そして昭和五十九年、私が十八歳の時、中耳炎と十二指腸潰瘍の症状になったので、その年の四月五日に、継るように入会しました。

これは去年の八月三十日のことです。突然、左胸に強い痛みを感じ、とても辛かったので長崎支部へ浄霊を受けに行きました。今まで胸の痛みの経

験はあったのですが、この時はいつもと痛みが違い、肋骨の骨一本一本がものすごい痛みで、痛みが籠もっているような感じでした。

私は個人で設計事務所を経営しており、八月は仕事をたくさん頂き忙しくしていましたが、この痛みの時は仕事も終わっており、時間もありませんでした。三十日から毎日支部に行き、続けて浄霊を受けることにしました。

骨の痛みは、日中より夜中の方が強かったのですが、何度も目が覚めてしまい、ほとんど眠れない状態でした。この痛みはその後五日間ほど続き、九月四日まで、なかなか眠ることは出来ませんでした。

翌五日になりますと、痛んでいた胸の周りにシッシンがぼつぼつと出てくるように変わっていききました。そして骨が痛んでいた感覚から皮膚の表面がかゆくて痛い…という状態が変わっていききました。そのシッシンは痛みのある左胸の周りを帯状に出来ており、オデキ一つ一つがチクチクと痛んでいたため、私は気になって調べてみると、帯状疱疹に似た症状ということが分かりました。

八日、痛みは増したのですが、私は、体内にある毒素がシッシンという形で体外に出ていると思ひ、その後も支部や自宅で浄霊を続けました。

徐々に引いてきた…

十日、帯状疱疹のように出ていたシッシンは、日に日に面積が広がっていききましたが、赤っぽい色から少し赤黒い色に変化していききました。私はその後もしつかりと浄霊を受け、仕事が忙しくなった時は、自宅でよく浄霊を

受けました。すると驚いたことにシッシンが引いていき、痛みも段々となくなっていきました。おかげ様で、九月二十日頃にはきれいなになり、痛みが完全になくなりました。最初の症状が始めてから一カ月もしないうちに良くなり、本当に有難かったです。

また、それだけではなく、二、三年前前から心臓の裏辺り（背中その部分）が言葉では表現しにくいのですが、モヤモヤした感じがあり、ずっと不快感がありました。しかし、この帯状疱疹のような状態が楽になったあと、その背中のモヤモヤもなくなっていることに気が付いたので。

今回、激痛とも言える状態だったのですが、これによって体内がきれいになり、全てが良い方へと変わりました。是非、この素晴らしい浄霊を、一人でも多くの方に体験して頂きたいと思ひ、体験記を書かせて頂きました。病気の悩みがある方は一度浄霊を体験してみても如何でしょうか。

明主様、心から感謝申し上げます。  
(長崎県長崎市)

浄霊

浄霊は、大自然のエネルギーであり、病気やあらゆる問題で苦しんでいる人、悩んでいる人を救う方法です。  
浄霊によって魂は清浄化され、肉体が健康になっていきます。  
まずは試されてみてはいかがでしょうか。

鼻詰まり・腰痛

日々過ごせるうちに  
心から感謝…

広島支部  
松田浩司 (54)



私は子どもの頃、よく熱が出たり、扁桃腺が痛んだりする症状があり、その度に病院で治療をしてきました。

その中でも割と元気に育ってきたのですが、二十代の頃、薬についての本を見たこともあったので、化学合成された薬品を体に入れることについては、本当に良いことなのだろうか…という疑問がありました。そのこともあって、一度は浄霊のことを聞いたりもしましたが、新健康協会のことまでは知りませんでした。

平成二十五年八月、私が四十一歳の時に、知人と浄霊の話をしました。その時に知人が「広島に浄霊を受けられる支部があるよ」と教えてくれました。私は一度広島支部に行ってみようかと思ひましたので、知人をお願いして一緒に支部へ行くことにしました。

そして一カ月後の九月二日、初めて広島支部へ行きました。支部へ入ると、何とも言い難い、心惹かれるものを感じました。支部の雰囲気良さ

と、浄霊の良さを感じた私は、その日に入会したいとお願いしました。知人は、私のことを事前に支部の方へ話してくれていたので、私はその日に入会することが出来ました。その日から今年で十三年経ちますが、様々なことでおかげを頂きました。

三、四年前まで、春には多量の鼻水、喉の痛み、鼻詰まりを繰り返すことがありましたが、浄霊を受けますと少しずつ楽になります。最近では症状が軽くなり大変喜んでいきます。

他にも風邪を引いたりすることもありますが、ちょうど仕事が休みの日になることが多く、自分にとって一番良い形になっています。

数年前、急にひどい腰痛になりました。寝起きするのも辛い状況で、かなり痛みました。何とか出勤することには出来ましたが、それでも姿勢によっては、かなりの激痛でした。

私は島根県に住んでいます。広島支部までは距離があり、なかなか支部には行けないので、自分でもよく浄霊をしました。右腰の痛みが強くなり、この状態が十日間ほど続きました。すると、その後には下痢が出て、それが済むと痛みもなくなり、楽になっていました。やはりこれも浄化作用で、体内の毒素が体外に排出されたのだ…と思ひ、感謝致しました。

日々こうして過ごせることは、決して当たり前のことではないと感じています。朝、目が覚めること、仕事が出来ること、食事が出来ること、住む家があること…その一つ一つに感謝するばかりです。

一人でも多くの方が、明主様に御縁を頂かれて幸せになられることを願っております。  
(島根県仁多郡)



美の世界

美によって人間の情操を高め、生活を豊かにし、人生を楽しく意義あるものにする... ことができます。

「祈りをこめて」展

古今東西、さまざまな形で人は祈りを捧げてきました。地域や文化、信仰によってその対象はそれぞれ異なりますが、日々の暮らしの安寧を願う時、大切な誰かを想う時、心を自分の外側に向けて言葉やイメージとともに強く望むという営みは普遍的なものだといえるでしょう。

仏教が広まった地域では、仏の姿や物語を描いた仏画、仏像が残され、儀礼の中心に置かれてきましたし、近代以降の芸術家たちもその伝統に連なるモチーフを新しい感性で表現しました。

私たちが生かす自然への感謝の念がうかがえます。工芸作品をつくるためのたくさんの手しごとの過程一つひとつには自然素材との対話があり、完成に至るまでの道のりはどこか祈願の姿に重なるところがあります。今回はそうした「祈り」を体験できるように作品をご紹介します。

また本展では「世界の信仰や思想はすべてヒマラヤから発する」という万教帰一

の考え方と、人類の幸福、世界の平和を理想に抱いていた杉本哲郎の作品も展示いたします。杉本は日本画のルーツを探ろうと東洋各地の古代壁画の研究に力を注ぎ、宗画家の集大成として、一九六九年から一九八一年までの十二年間をかけて「世界十大宗教壁画」の制作に取り組みました。杉本が七十歳から八十二歳の時です。ヒマラヤの連峰を「神々の座」として中心に据え、

の目で見て、感じたことをもとに描かれたものです。

解説 松田愛子



清明会館(美術館)のInstagramははじめました。

清明会館

「祈りをこめて」前期展

期間.. 令和8年6月9日(火)〜12月5日(土)

※清明会館お問い合わせ ☎(0)92(0)661-1533

新健康協会総本部

福岡市東区唐原6丁目7-1 TEL(092)661-1531(代)

Table listing various branches of the New Health Association across different prefectures including Hokkaido, Tohoku, Kanto, Chubu, Kansai, Chugoku, Shikoku, Kyushu, and Okinawa, with their respective addresses and phone numbers.

健康新聞についてのお問い合わせ ☎(0)92(0)661-1533